



第64期(平成24年3月期) 決算説明会資料

平成24年5月14日



東洋水産株式会社

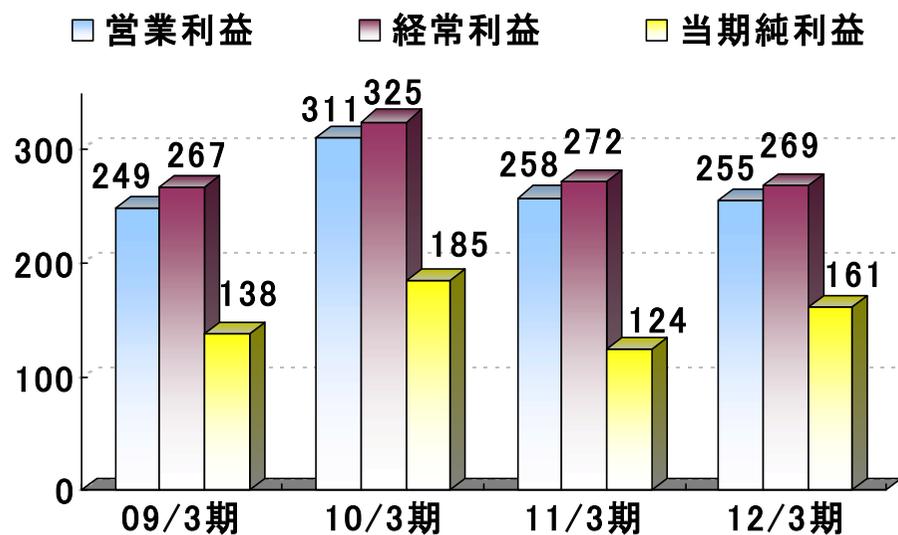
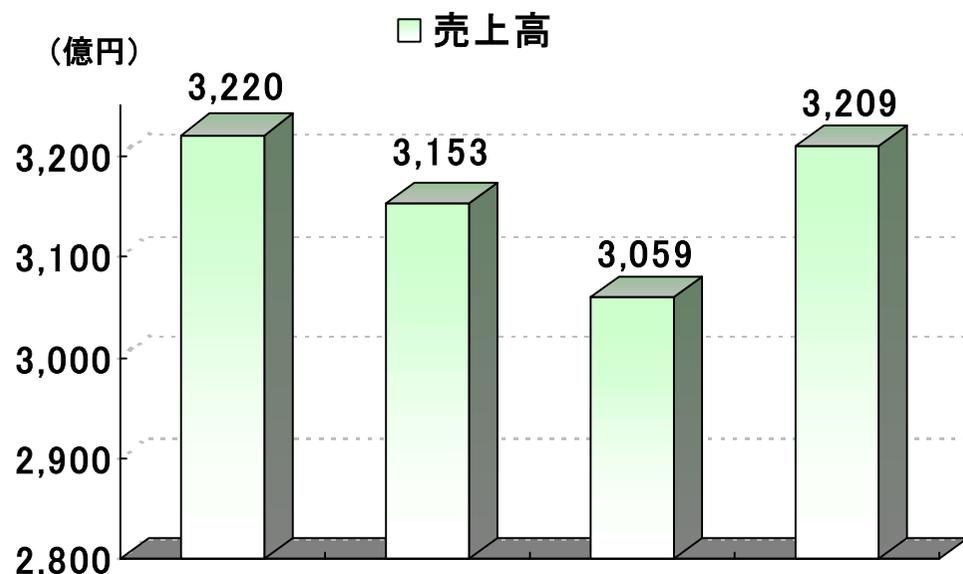


目次

	(頁)		(頁)
○前期連結業績	3	○当期予想	
○前期概況		国内即席麺事業	17
国内即席麺事業	6	低温食品事業	19
低温食品事業	8	加工食品事業	20
加工食品事業	10	水産食品・冷蔵事業	20
水産食品・冷蔵事業	11	海外即席麺事業	21
海外即席麺事業	12	○連結通期予想	23



前期連結業績



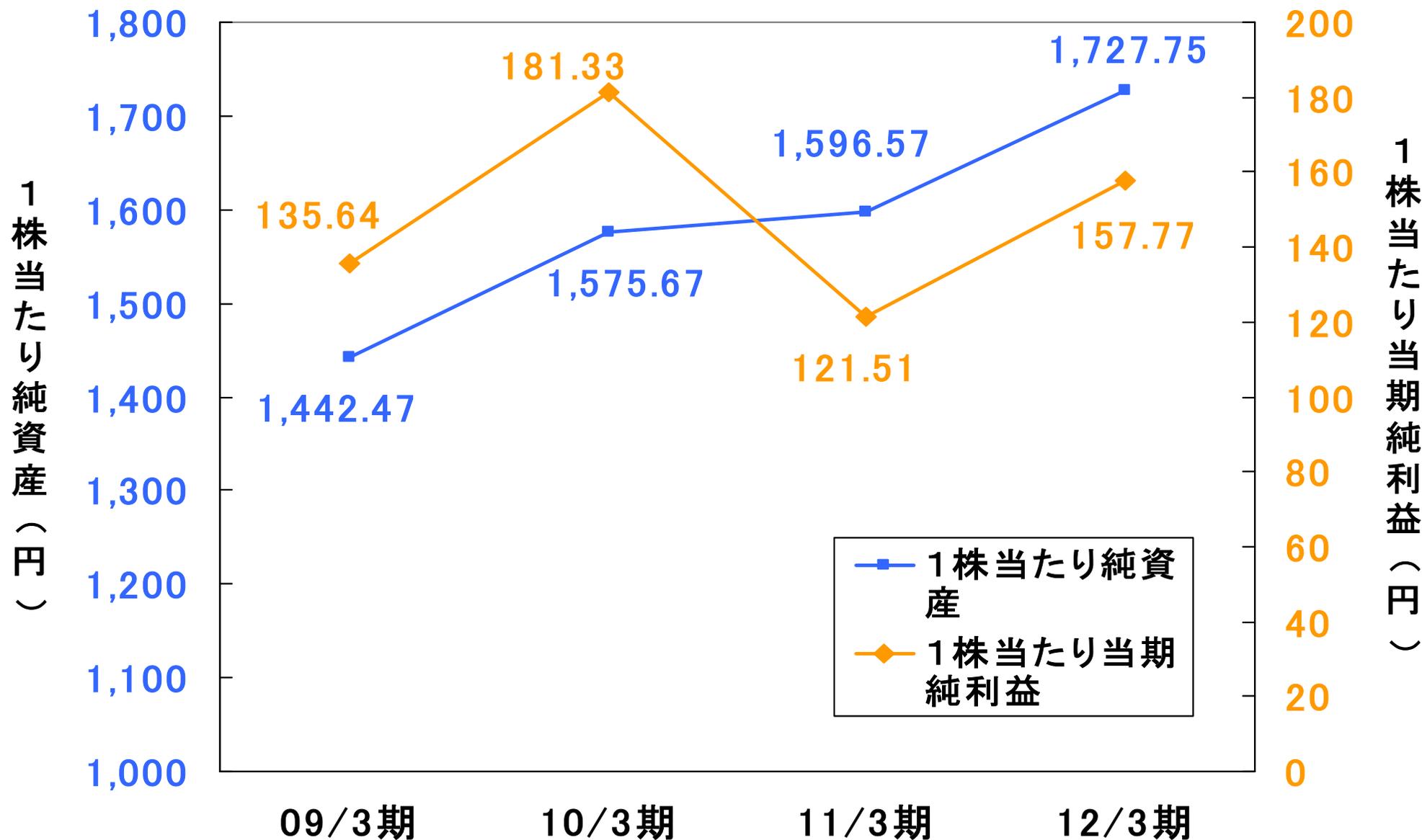
(億円)

	11/3期	12/3期	増減	
水産食品事業	334	326	-8	-2.4%
海外即席麺事業	502	576	+74	+14.7%
国内即席麺事業	1,018	1,066	+48	+4.8%
低温食品事業	634	634	-0	-0.0%
加工食品事業	183	172	-11	-6.0%
冷蔵事業	128	148	+20	+15.4%
その他	260	287	+27	+10.5%
(調整額)	0	0	+0	-
売上高合計	3,059	3,209	+150	+4.9%

水産食品事業	7	9	+2	+22.2%
海外即席麺事業	74	83	+9	+11.3%
国内即席麺事業	116	107	-9	-8.0%
低温食品事業	43	36	-7	-15.9%
加工食品事業	5	5	+0	+6.5%
冷蔵事業	6	12	+6	+109.4%
その他	12	14	+2	+21.4%
(調整額)	-6	-11	-5	-
営業利益合計	258	255	-3	-1.1%



前期連結業績・・・経営指標の推移





前期概況



前期実績 国内即席麺事業①

即席麺市場の状況

買い置き・保存商品として
見直され安定的に推移

即席麺の販売施策

- ・「赤いきつね」「緑のたぬき」
「麺づくり」の消費者キャンペーン実施
- ・「マルちゃん正麺」の広告を
はじめとした多様な販売促進活動



袋麺の状況

- ・「マルちゃん正麺」の好調
- ・製造ラインの増設

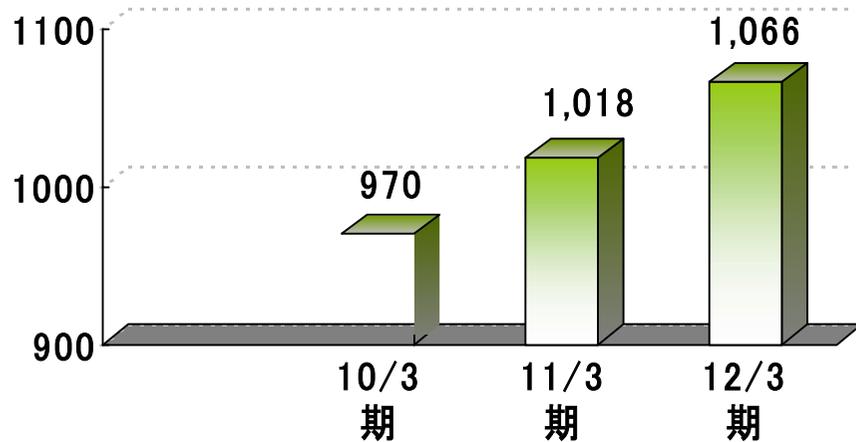




前期実績 国内即席麺事業②

○ 売上高
(億円)

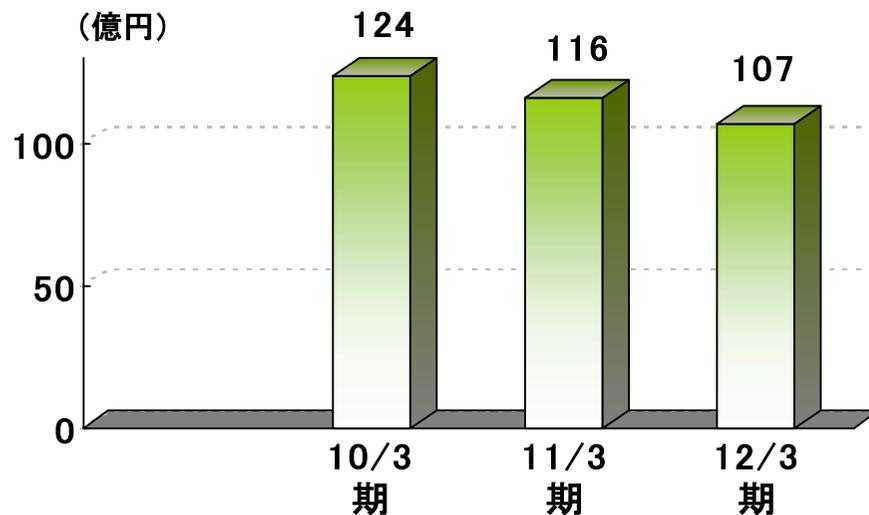
国内即席麺事業



(単位: 億円)

	11/3期	12/3期	増減	
売上高	1,018	1,066	+48	+4.8%
営業利益	116	107	-9	-8.0%

○ 営業利益



要因	影響額
売上高増による利益増加	+15
原材料費増加	-6
製造経費増加	-11
販管費増加	-7
合計	-9



前期実績 低温食品事業①

生 麺

- ・ 生麺市場は前年を下回る状況が継続

当社の状況・取組み

主力品の強化

- ・ 「3食焼そば類」のフレーバー展開
- ・ 他社製品の安い売価に影響されない

ブランド戦略



冷凍食品

- ・ 東日本大震災の影響で外食産業等のお取引先に影響

- ・ 内食傾向の高まりによる伸長

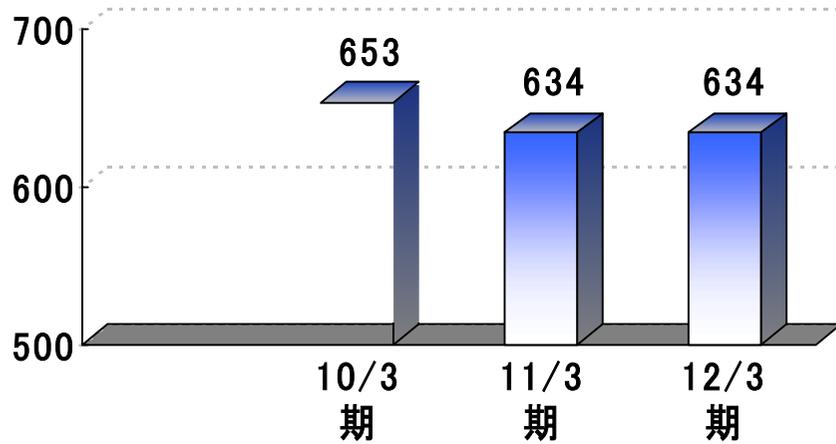




前期実績 低温食品事業②

低温食品事業

○ 売上高
(億円)

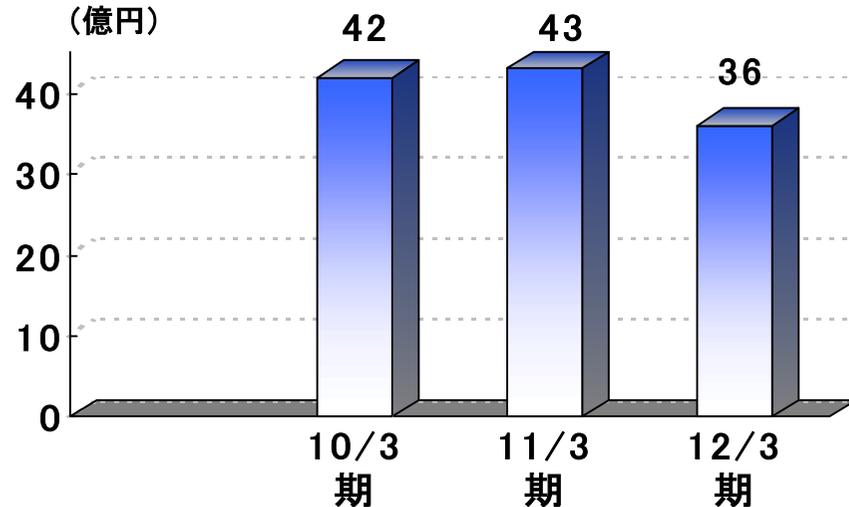


(単位: 億円)

	11/3期	12/3期	増減	
売上高	634	634	-0	-0.0%
営業利益	43	36	-7	-15.9%

○ 営業利益

(億円)



要因	影響額
売上高減による利益減少	0
原材料費増加	-6
製造経費増加	0
販管費増加	-1
合計	-7



前期実績 加工食品事業

米飯

- 原料米の高騰、消費者の低価格志向により
厳しい販売環境
- 工場被災により製造停止で販売に影響
- 非常用の備蓄食料として価値の見直し



FD製品・調味料

- 簡便・本物志向の流れでFDスープ類が堅調に推移
- FD製法の特性を活かしたカップスープ商品開発





前期実績 水産食品・冷蔵事業

水産食品事業

- ・ 海外勢の需要増加と不安定な相場
- ・ 放射能問題等による消費マインドの減退

冷蔵事業

- ・ 震災復興に伴う荷動きの回復
- ・ 連結範囲の変更に伴う増加（新規連結3社）



前期実績 海外即席麺事業①

北米の販売環境

- ・ 長引く不況による
消費者の生活防衛意識の高まり
- ・ メキシコにおける経済環境の厳しさ継続



小売、他社の動き

低価格を前面に出しての集客戦略

当社の対応策

量販店との取り組み強化による
販売促進活動の継続

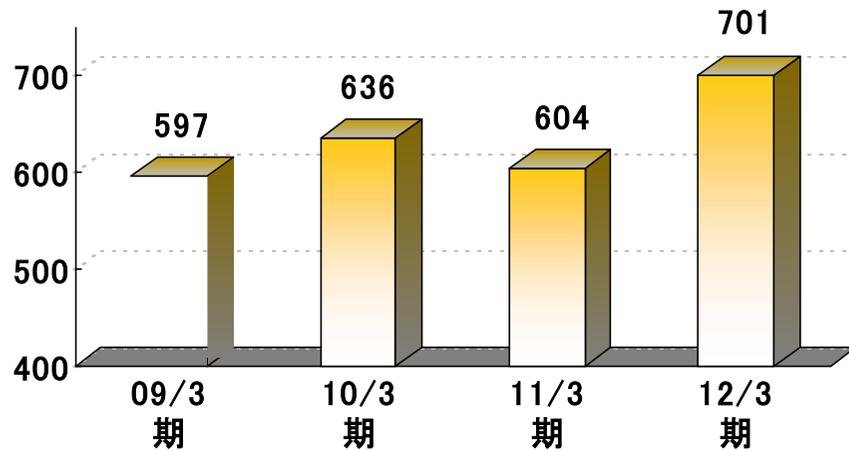




前期実績 海外即席麺事業②

海外即席麺事業

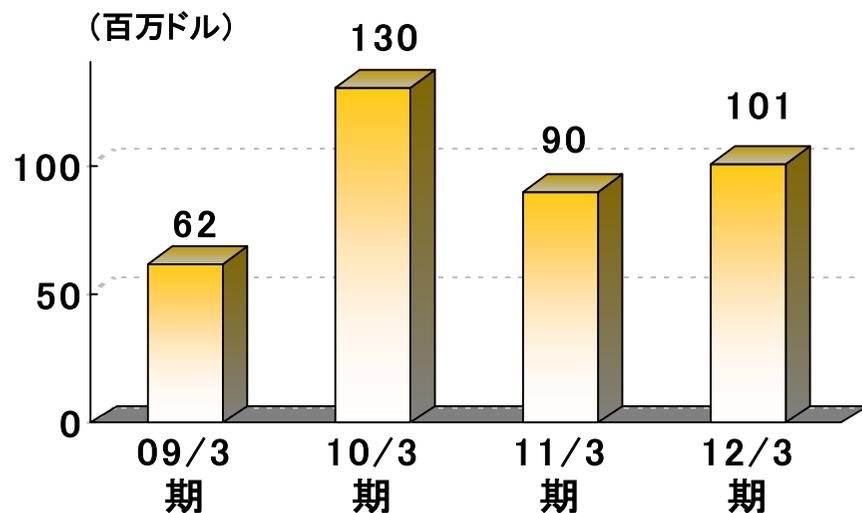
○ 売上高
(百万ドル)



(単位: 百万ドル)

	11/3期	12/3期	増減	
売上高	604	701	+97	+16.1%
営業利益	90	101	+11	+12.7%

○ 営業利益



要因	影響額
売上高増による利益増加	+67
原材料費増加	-45
製造経費増加	-6
販管費増加	-5
合計	+11



当期予想



当期の見通し 日本

国内即席麺事業

- 和風麺など基幹ブランドの底上げ
- 消費者キャンペーン実施
- 付加価値を持った新商品の投入

低温食品事業

- 市場では厳しい価格競争とPB化
- フレーバー展開と消費者キャンペーン実施
- 付加価値商品の開発

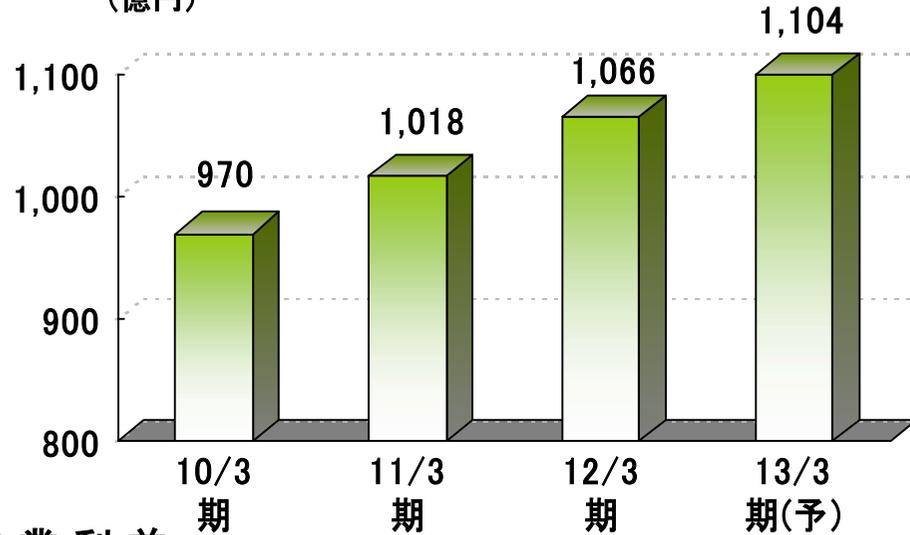




当期の見通し 国内即席麺事業

○ 売上高
(億円)

国内即席麺事業

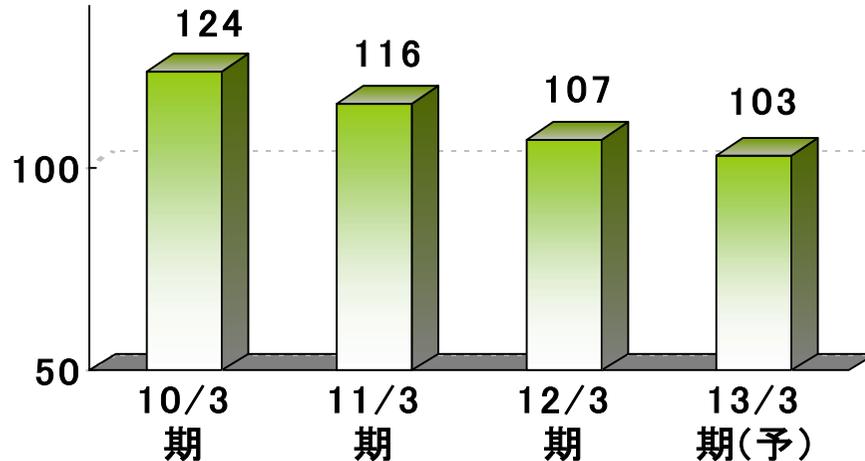


(単位: 億円)

	12/3期	13/3期(予)	増減	
売上高	1,066	1,104	+38	+3.5%
営業利益	107	103	-4	-3.6%

○ 営業利益

(億円)



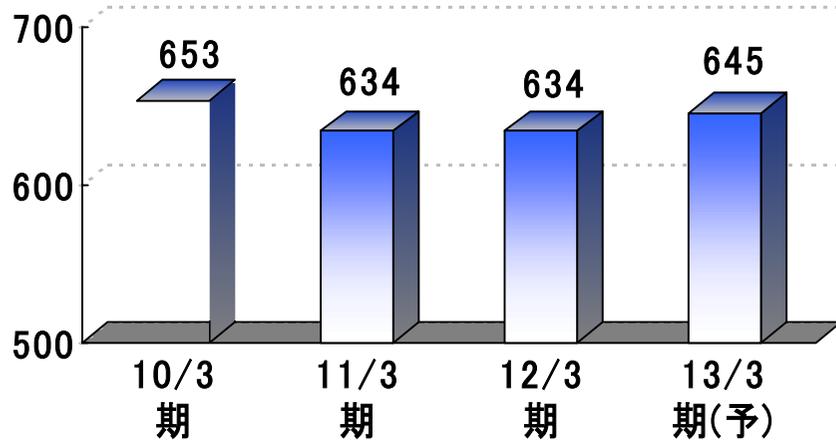
要因	影響額
売上高増による利益増加	+6
原材料費減少	+18
製造経費増加	-11
販管費増加	-17
合計	-4



当期の見通し 低温食品事業

○ 売上高 (億円)

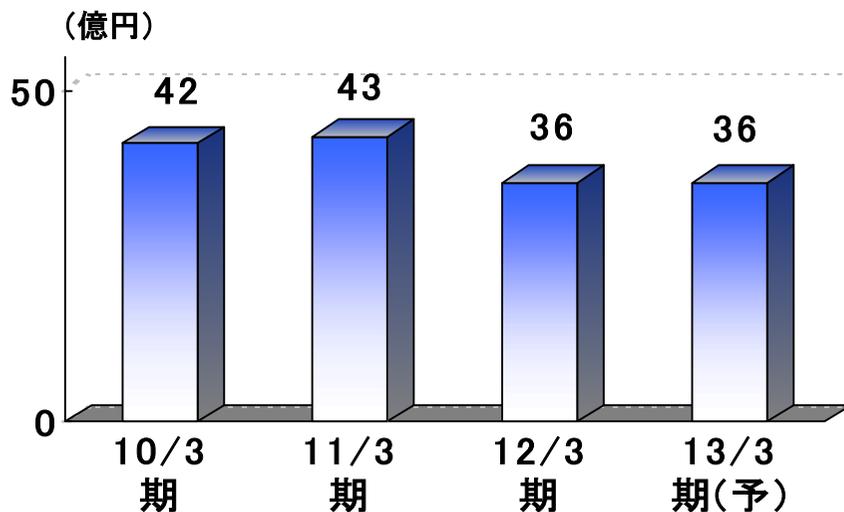
低温食品事業



(単位: 億円)

	12/3期	13/3期 (予)	増減	
売上高	634	645	+11	+1.8%
営業利益	36	36	+0	+1.6%

○ 営業利益



要因	影響額
売上高増による利益増加	+3
原材料費減少	+8
製造経費減少	+1
販管費増加	-12
合計	+0



当期の見通し 日本

加工食品事業

既存品はコストダウンによる低価格志向への対応

水産食品事業

震災被害のあった連結子会社の復興・再開

冷蔵事業

価格対応、高品質サービスの強化



当期の見通し 海外即席麺事業①

販売数量拡大策

- 新製品の導入（袋めん、焼そば）
- 継続的な顧客別対応と販売促進活動



製造能力の増強

- 米国新工場の建設
- 米国およびメキシコ向け供給体制強化と物流コスト削減



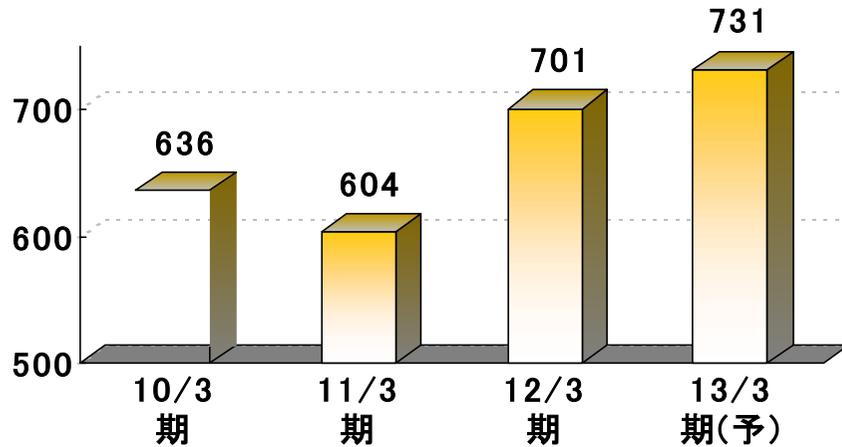


当期の見通し 海外即席麺事業②

○ 売上高

(百万ドル)

海外即席麺事業

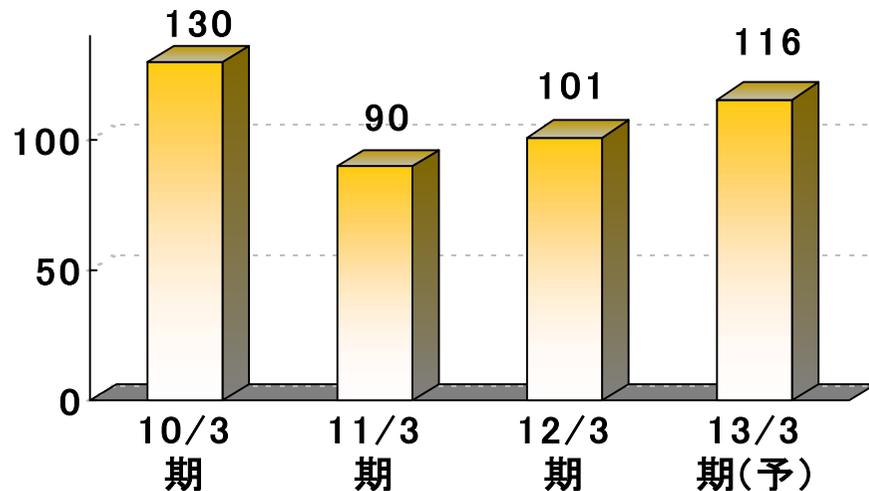


(単位:百万ドル)

	12/3期	13/3期(予)	増減	
売上高	701	731	+30	+4.3%
営業利益	101	116	+15	+15.2%

○ 営業利益

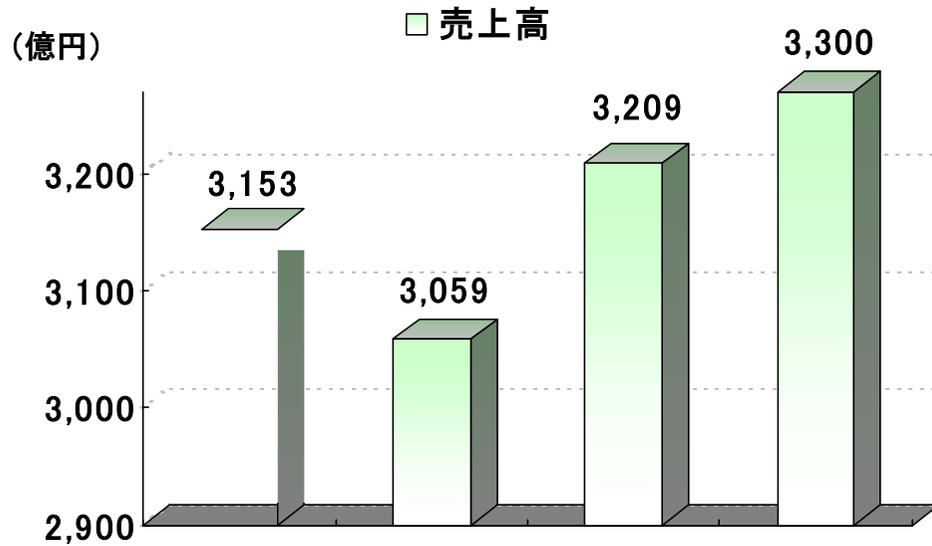
(百万ドル)



要因	影響額
売上高増による利益増加	+20
原材料費減少	+6
製造経費増加	-3
販管費増加	-8
合計	+15



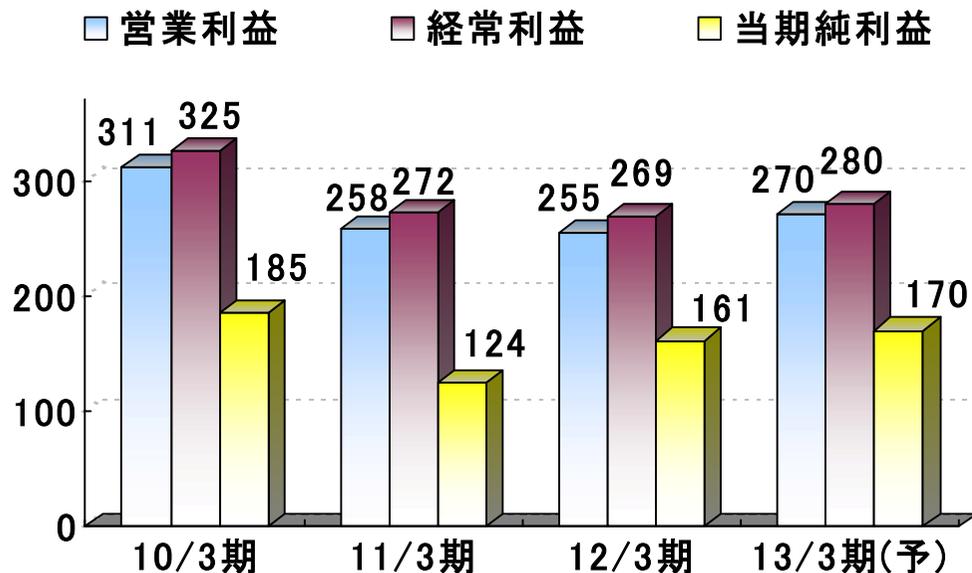
当期連結業績予想



(億円)

	12/3期	13/3期(予)	増減	
水産食品事業	326	333	+7	+2.5%
海外即席麺事業	576	600	+24	+4.1%
国内即席麺事業	1,066	1,104	+38	+3.5%
低温食品事業	634	645	+11	+1.8%
加工食品事業	172	181	+9	+5.5%
冷蔵事業	148	153	+5	+3.6%
その他	287	284	-3	-1.1%
(調整額)	0	0	-0	-
売上高合計	3,209	3,300	+91	+2.8%

水産食品事業	9	9	-0	-2.3%
海外即席麺事業	83	95	+12	+15.0%
国内即席麺事業	107	103	-4	-3.6%
低温食品事業	36	36	+0	+1.6%
加工食品事業	5	5	-0	-3.3%
冷蔵事業	12	13	+1	+11.0%
その他	14	18	+3	+23.2%
(調整額)	-11	-9	+2	-
営業利益合計	255	270	+15	+5.8%

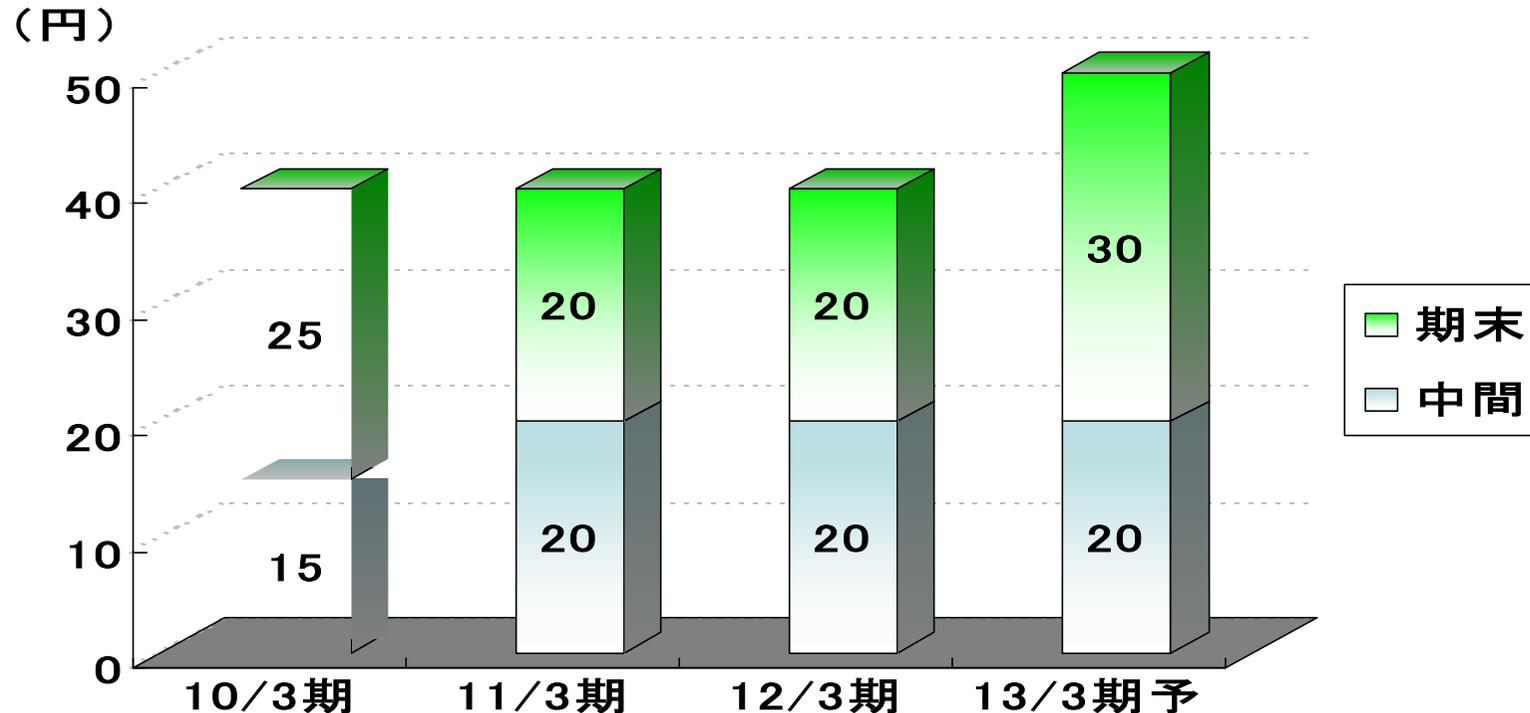




当期連結業績予想 … 配当

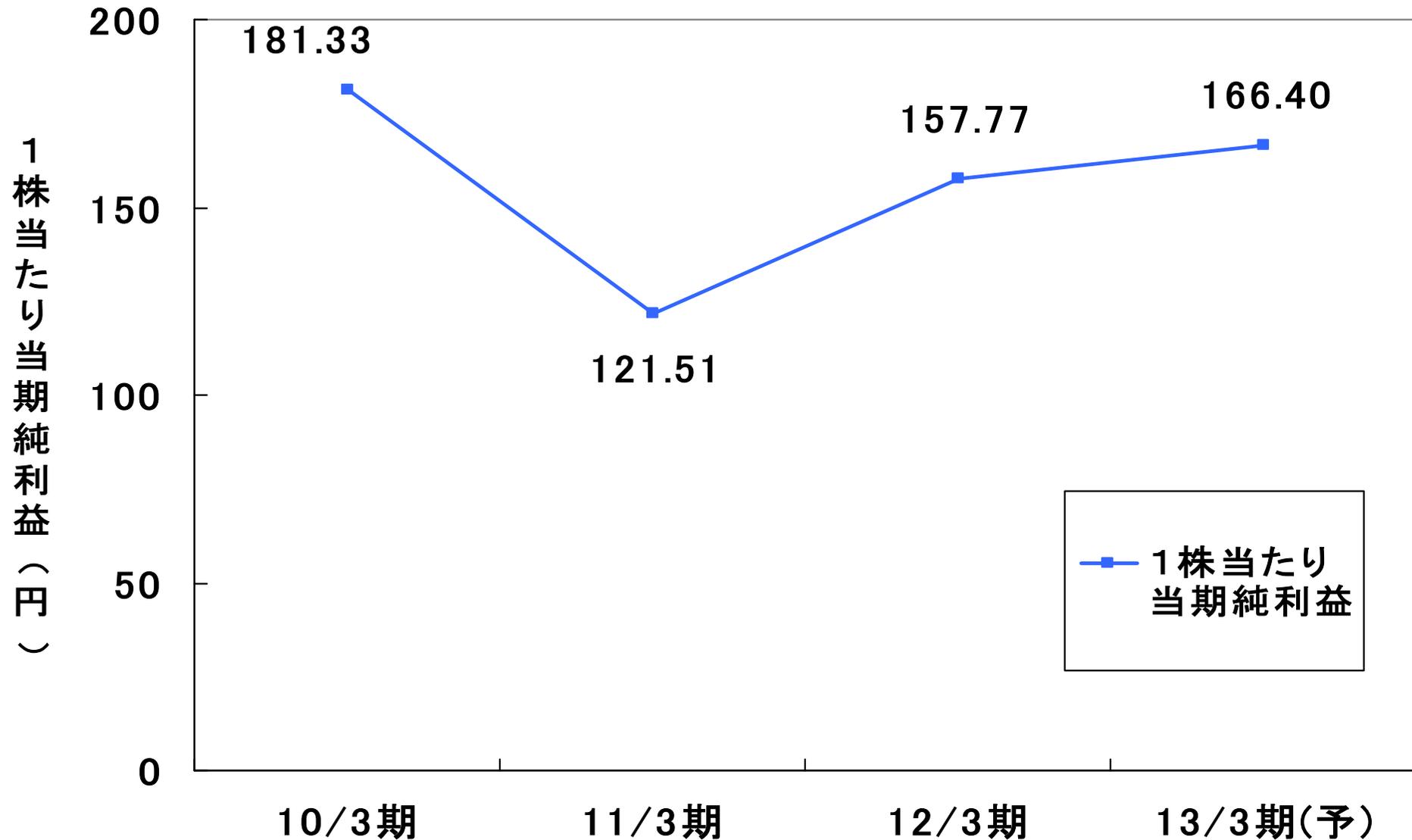
配当方針

- ・ 期間業績を加味しながら長期的な安定配当の実施を目指す
- ・ 創立60周年を記念し、記念配当10円を予定（期末）





当期連結業績予想 … 1株利益





Smiles for All.

すべては、笑顔のために。

この説明会資料に掲載されている、東洋水産株式会社の計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に対しての見通しであり、現時点で入手できる 情報から得られた東洋水産株式会社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績については様々な要因により、見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。



東洋水産株式会社